

文章題テスト・説明文(5)

月 日
名 前

★つぎの文しようを読んで、あとの問いに答えましよう。

わたしたちは、むかしから、植物のにおりを楽しんできました。たとえば、ネギやシソなどかおりの強い葉を、料理のやくみとして使います。おかしのかおりづけや、香水の原料としても、植物を使ってきました。

植物のかおりは、いくつかの「かおりの成分」が集まってできていますが、

これらの成分の中には、さまざまなたらきをもつものがあります。日本でよくみられるクスノキのかおりのおもな成分には、虫をよせつけないはたらきがあることから、この木はタンスなどの家具の材料として使われてきました。また、さしみにつけるワサビのツーンとしたかおりの成分には、カビやさいきんがふえるのをおさえるはたらきがあるのです。このように、わたしたちは、かおりの成分がもつさまざまなはたらきを、生活の中でたくみに利用してきましたのです。

(若山 香菜子「かおりのふしぎなはたらき」より)

(注) 成分…あるものをつくるもととなるもの。

線「植物のにおりを楽しんできました」とありますが、その楽しみかたを、次のようにまとめました。□に当てはまることばを、文中からそれぞれ書きぬきましよう。

料理の **やくみ** として使う。

おかしのかおりづけに使う。

香水の **原料** にする。

すぐ後で、「たとえば…」とせつめいしている。



2 線2「これらの成分の中には、さまざまなたらきをもつものがあります」とありますが、かおりの成分がもつはたらきは、このあとの文しようの中でいくつ書かれていますか。数字で書きましょう。

2

つ

「虫をよせつけない」はたらきと、「カビやさいきんがふえるのをおさえる」はたらき。

3 線3「この木はタンスなどの家具の材料として使われてきました」とありますが、この木でタンスを作ると、どのようなよいことがありますか。
□に当てはまることばを、考えて書きましょう。

タンスの中の服に

虫がつかない

こと。

4 線4「たくみに」の意味としてもっともふさわしいものを、ア～エからえらんで、記号に○をつけなさい。

ア じょうずに

イ びんかんに

ウ べんりに

エ しらないうちに

